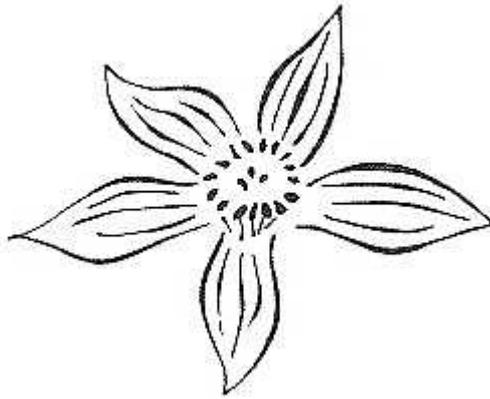


文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」

令和元年度研究開発実施報告書

研究構想名

みさこう・せんたんプロジェクト～佐田岬半島・地域デザイン人材の育成～



愛媛県立三崎高等学校

## 巻頭言

愛媛県立三崎高等学校

校長 若江 亨

本校では、令和元年度を奇跡の年、全国デビューの年と考えています。それでは、令和元年度に何があったか。まずはもちろん、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定を全国20校の一つとして受けました。このことが、奇跡と全国デビューの始まりだと思っています。本校は今年度、入学者数が分校化の基準を下回ったため、分校化が検討される年度となるはずでした。しかし、この文部科学省の指定を受けたことにより、分校化が見送りとなりました。奇跡と全国デビューの始まりです。

本校の地域魅力化は「三崎おこし」という名の地域おこしを新しく立ち上げた校務分掌の地域協働課を中心にしてスタートさせた時から、本格的に始まりました。その活動の中で、キーワードが生まれます。「せんたんミーティング」です。本校は四国の最西端にあります。そして佐田岬半島の「せんたん」にあります。「最西端から最先端な」活動を実施したい。県内外から、多くの高校生、大学生を「せんたん」に招いてシンポジウムを行う。その思いが込められた名称が「せんたんミーティング」です。この時から、本校は「せんたん」をキーワードにしています。

そして、「みさこう」、このキーワードは、生徒が考案した健康体操「みさこうたいそう115」から来ています。115は健康寿命で115歳を目指すという意味が込められています。この体操をきっかけに三崎高校の愛称・略称を「みさこう」で統一していきます。学校の努力目標も「みさこう 最高 さあ行こう 最西端から最先端へ」としています。

生徒募集のために、インパクトのあることを広くアピールする。そのために、キーワードの「せんたん」と「みさこう」がキャッチフレーズとなっています。本校の様々な地域魅力化の活動・取組には、こうして「せんたん」及び「みさこう」のネーミングが採用されているのです。

全国デビューについて言えば、今年度、生徒と本校OBの菓子店が協働で開発した「みっちゃん大福」が「こんなのあるんだ大賞」で全国1位になりました。そして、今年度徳島で開催された「エシカル甲子園」では全国2位となりました。また、全国ネットのテレビ番組にも取り上げてもらいました。そして、全国募集の二年目、来年度の春は、県外からも多くの入学生を迎えることができます。

結びになりますが、令和の奇跡と全国デビューのスタートとなったのは、この度の文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定を受けたことです。教職員一同、恩返しのつもりで、今後精一杯取り組んで参りたいと思っています。

# 目 次

- 巻頭言
- 目次

I	概要	1
1	研究開発の概要	2
2	実施体制の概要	4
3	管理機関の取組・支援実績	9
4	研究開発概念図	12
5	ロジックモデル	13
II	組織の取組	14
1	過年度の取組	15
2	コンソーシアム	15
3	管理機関及びコンソーシアムにおける主体的な取組について	22
4	伊方町（伊方町移住・定住促進協議会）との連携について	23
5	集落等コミュニティに特化した課題解決カリキュラムの開発	37
6	校内体制	38
III	研究開発	40
1	地域を担う人材育成のためのプログラム	41
(1)	地域資源活用プログラム	41
(2)	課題研究	43
(3)	県外フィールドワーク	49
(4)	地域おこし講演会	50
(5)	地域理解	50
2	集落等コミュニティ課題解決・実践プログラム	51
3	各教科・科目における取組	53
4	視察研修	55
5	成果発表会（未咲輝 - せんたん - 発表会）	61
IV	評価・分析	65
1	ループリック	66
2	生徒振り返り	67
3	目標と実施状況	69
4	次年度以降の課題及び改善点	70
別冊	関係資料	
1	高校魅力化評価システム診断結果	1
2	新聞記事	6
3	事業案内ポスター	11
4	フリーペーパー「せんたん新聞」	16
5	『地域人材育成研究（第1号）』記事（地域人材育成研究会）	20
6	令和2年度教育課程表	58
7	令和2年度「総合的な学習（探究）の時間」年間指導計画	61
8	令和2年度学校設定科目「未咲輝学」年間指導計画	64